

ギリシャ概況(2019年9月号)

1. 内政

- ・7日 ミツオタキス首相は、テサロニキ国際見本市開会式にて政策に関する首相演説を行った。今年の主賓国はインド。
- ・17～18日 内政等に関する世論調査が実施された。政党支持率は ND が 39.5%、SYRIZA が 26.0%となった。
- ・21～22日 ミツオタキス首相は、移民・難民問題対応のため、緊急会議を開催した。
- ・30日 禁煙法の制定、移民・難民問題に関する閣議が開催された。

2. 外政

- ・3日 ミツオタキス首相はオランダを訪問し、ルッテ首相と会談した。
- ・5日 ミツオタキス首相は、訪希したロス米商務長官とアテネで会談し、今後の両国の提携に関して協議した。
- ・8日 ミツオタキス首相は、テサロニキ国際見本市のマージンで訪希したプリ・インド商務大臣とバイ会談を行った。
- ・10日 ミツオタキス首相は、訪希したアナスタシアデス・キプロス大統領と会談した。
- ・12日 フリソホイディス市民保護大臣は、スティリアニデス人道援助・危機管理担当欧州委員と会談した。
- ・18日 タスラ国会議長及びアサナシウ国会副議長他は、来訪したキャン中国大使及び中国最高裁判所長官他と会談した。
- ・23～25日 ミツオタキス首相は、国連総会のマージンでクシュナー・米大統領顧問、エルドアン・トルコ大統領、ラマ・アルバニア首相、ザエフ・北マケドニア首相、サチ・コソボ大統領、ヴチッチ・セルビア大統領らとそれぞれ会談した。

3. 移民・難民問題

- ・9月には陸路でギリシャに到着する移民・難民の数が 2,000 名、エーゲ海島嶼部に到着する者の数が 10,550 名となった。
- ・9月30日現在、ギリシャに滞在する移民・難民は 96,500 名。うち、30,700 名が島嶼部に、65,800 名が本土に滞在。(UNHCR 発表)

4. 経済

(1) 経済動向

- ・5日 ギリシャ統計局のデータによると、2019年第2四半期の経済成長率は 1.9%となり、目標値 2.3%を下回った。
- ・16日 ギリシャがIMFからの債務の一部を繰り上げ返済することが、IMF及びユーロ

グループから承認された。

・18日 欧州委員会が公表したデータによると、2019年9月の欧州投資計画(ユンカー・プラン)の実施状況は、対GDP比でギリシャが第1位(27億1,600万ユーロ)となった。

・19日 ギリシャ10年物国債の利回りが、1.36%を記録した。また、5年物国債利回りは0.74%、7年物国債利回りは1.09%となった。

・25日 ピレウス港湾計画開発委員会は、コスコ社によって提出されていた新たなマスタープランを、第4コンテナ埠頭の新設と自動車ターミナル拡張の二点を除いて大枠で承認した。

(2) 財政

ギリシャ財務省が9月25日付けで公表した2019年1月から8月の財政統計によると、1月から8月の財政収支は15億8,800万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは29億600万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は331億3,000万ユーロで政府目標を24億2,400万ユーロ(7.9%増)上回り、歳出は347億1,800万ユーロと政府目標を9億6,500万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の10月8日付の発表によると、8月の輸入総額は41億900万ユーロ(前年同月比5.0%減)、輸出総額は23億8,020万ユーロ(前年同月比7.3%減)となった。

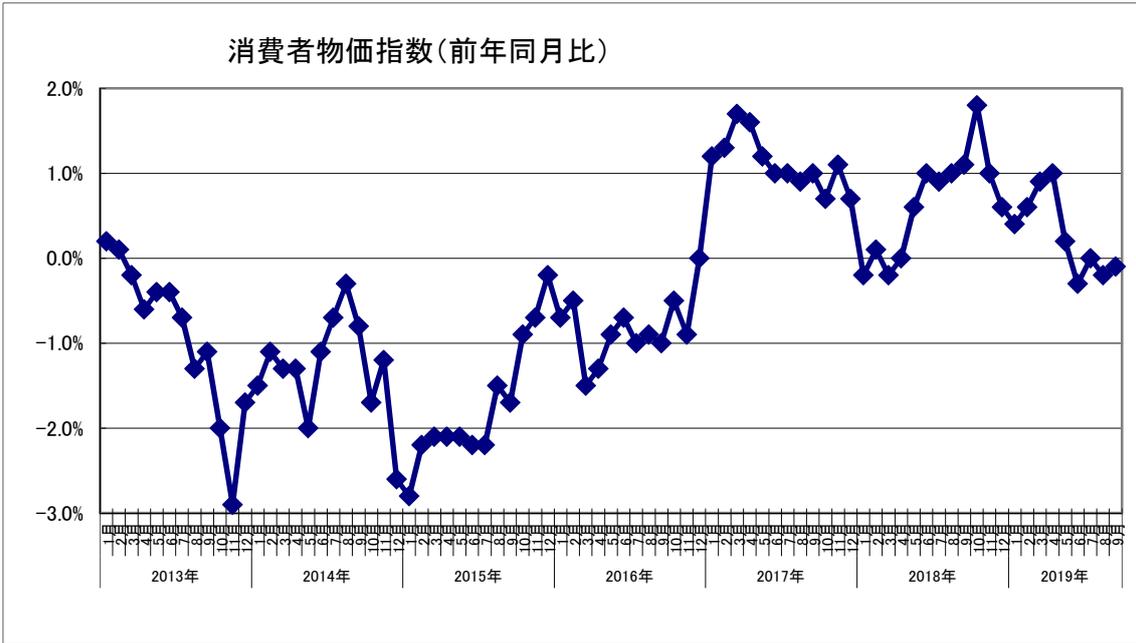
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、8月の観光客は383万5,587人で前年同月比は4.4%増となった(国内主要空港の観光客到着数)。内訳は、アテネ国際空港が87万6,076人(同14.1%増)、テサロニキ空港が29万6,237人(同1.9%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

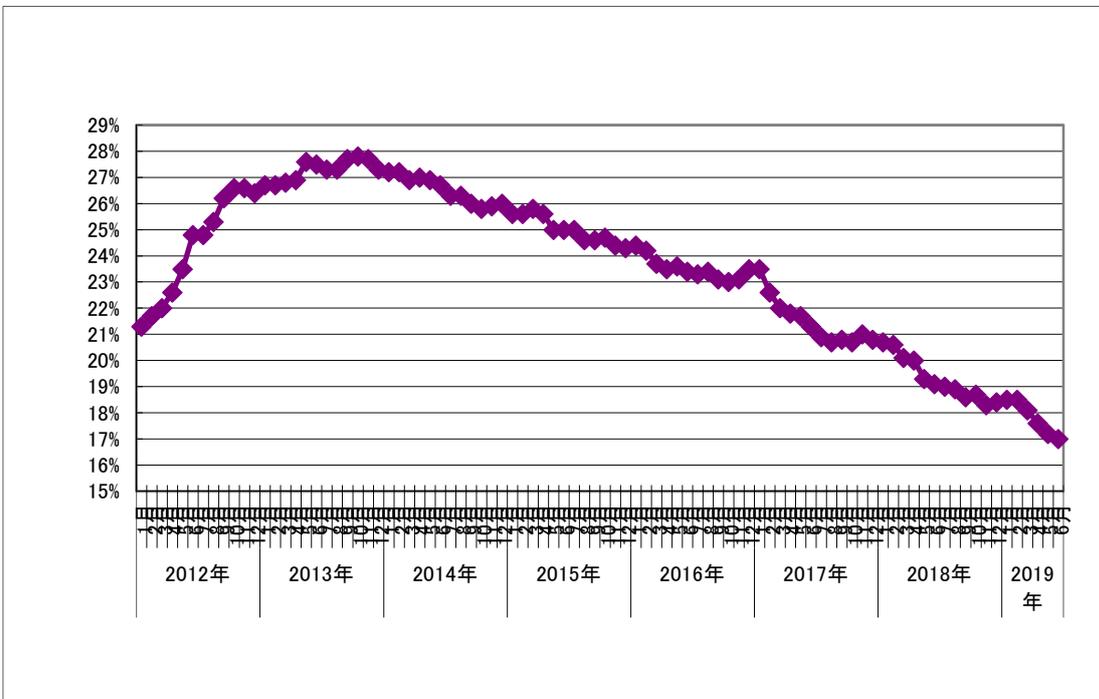
ギリシャ統計局の10月10日付の発表によると、9月の消費者物価指数は前年同月比0.1%減となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の9月5日付の発表によると、6月の失業率は17.0%となり、前月から0.2%減少した。



(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECD のデータによると、2019 年第 2 四半期(4 月～6 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 1.9%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。(了)